

水道 News 現場レポート2

エスロハイパーの特徴を生かして鞘管施工が実施されています！

河川護岸部の鞘管施工(パイプインパイプ)に採用！



河川流域の道路拡張に伴う、配水管布設替え工事に使用。



エスロハイパー布設に先立ち、硬質塩化ビニル管300Aを鞘管として布設。



エスロハイパー150Aは、あらかじめ地上で接合し、長尺管を作成。



エスロハイパーは、軽量かつ離脱防止が不要。長尺管を一気に挿入・配管完了です。

堤防及び護岸でのエスロハイパーの使用につきましては、所轄の河川管理者にご確認ください

河川改修に伴う橋梁工事で、二重管施工を実施！



橋梁部に配水管を布設します。維持管理の為に二重管構造としました。



末端部分には、鋳鉄管用継手(変換継手)を使用しました。



EFソケットなら、やり取り施工も簡単。内側のストッパーを取り除いて、片側に預けます。



挿入標線まで、ソケットを戻して融着開始。突き合わせ配管時に有効です。

エスロハイパーの特徴である”軽さ”と”接合部の信頼性”。
新しい施工方法のご提案を、是非 セキスイにご相談ください。